

令和8年 4月～6月期 作州津山商工会管内景況（DI）調査

調査方法 専用ホームページ及び経営指導員による訪問調査

対象企業 作州津山商工会管内の小規模事業者 120 事業所

製造業	建設業	卸小売業	サービス業	合 計
24	31	28	37	120

調査結果の概要

<全体 ～仕入DIはマイナス幅が拡大、それに伴い採算性も悪化傾向～>

令和8年第一四半期（前回調査）と同様に、仕入DIのマイナス幅が拡大しています。

今後の見通し（令和8年7～9月）は、引き続き仕入DIは悪化が続く見込みです。

<製造業 ～売上DI・資金繰りDIはプラス水準、採算DIは若干のマイナス～>

売上DIは20.8（前回25.0）、採算DIは±0.0（前回▲4.2）、資金繰りDIは8.3（前回4.2）となりました。

今後の見通し（令和8年7～9月）は売上DIは好転減少、採算DIは悪化、資金繰りDIは維持の見込みにあります。

<建設業 ～売上DI・資金繰りDIはプラス水準に回復～>

売上DIは25.8（前回6.5）、採算DIは6.5（前回0.0）、資金繰りDIは9.7（前回12.9）となりました。

今後の見通し（令和8年7～9月）は売上DIは好転減少、採算DIは悪化、資金繰りDIは好転悪化の見込みにあります。

<卸・小売業 ～売上DIはプラス水準。採算・資金繰りDIは引き続き厳しい状況～>

売上DIは17.9（前回25.0）、採算DIは▲21.4（前回▲17.9）、資金繰りDIは▲3.6（前回▲10.7）となりました。

今後の見通し（令和8年7～9月）は売上DIは好転減少、採算DIは好転、資金繰りDIは好転の見込みにあります。

<サービス業 ～売上DIはプラス水準を維持、資金繰りDIもプラス、採算DIは引き続き厳しい状況～>

売上DIは24.3（前回21.6）、採算DIは▲21.6（前回▲5.4）、資金繰りDIは▲5.4（前回2.7）となりました。

今後の見通し（令和8年7～9月）は売上DIは好転減少、採算DIは悪化減少、資金繰りDIは悪化維持の見込みにあります。

<業種別業況>

仕入単価DIは卸・小売業で特に厳しく、見込みも同様。

<時系列比較>

売上DIは全業種でプラス水準。

採算DIは前回から若干悪化。

資金繰りDIは卸・小売業、サービス業でマイナス続く。

<業況変化の要因>

民間需要の活性化や販売・受注の増加により業績が好転しています。

仕入価格の上昇（商品、原材料等）が1位回答の最多となっています。

～業種別比較表～

○製造業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和7年4月～6月	天気図					
	D I	20.8	-45.8	0.0	16.7	8.3
来季（見通し）比較 令和8年7月～9月	天気図					
	D I	-4.2	-41.7	-16.7	16.7	8.3

○建設業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和7年4月～6月	天気図					
	D I	25.8	-48.4	6.5	6.5	9.7
来季（見通し）比較 令和8年7月～9月	天気図					
	D I	12.9	-29.0	-6.5	6.5	0.0

○小売業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和7年4月～6月	天気図					
	D I	17.9	-78.6	-21.4	10.7	-3.6
来季（見通し）比較 令和8年7月～9月	天気図					
	D I	10.7	-60.7	-17.9	7.1	7.1

○サービス業

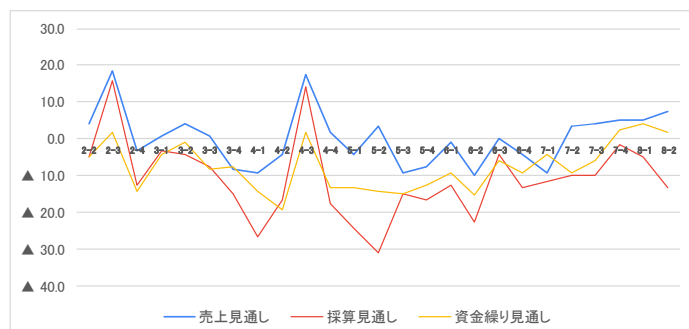
比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和7年4月～6月	天気図					
	D I	24.3	-51.4	-21.6	13.5	-5.4
来季（見通し）比較 令和8年7月～9月	天気図					
	D I	8.1	-27.0	-13.5	5.4	-5.4

～天気図の指標～

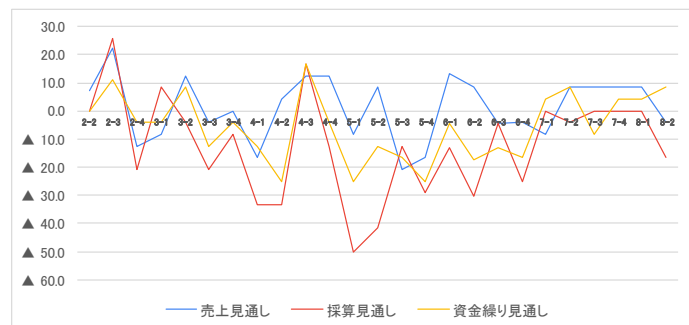
状 況	快晴	晴れ	曇	雨	雷
天気図					
D I	30～	10～	0	-10～	-30～

～グラフによる今後の見通し～

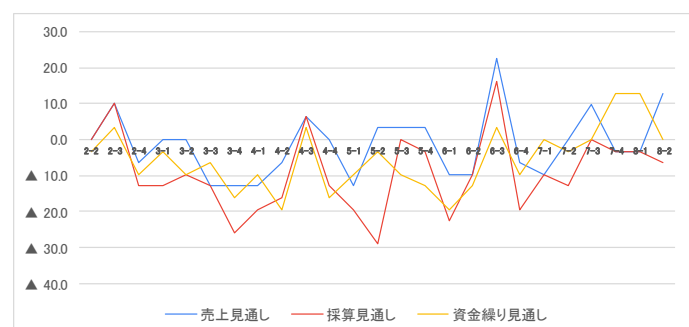
◎全体の売上・採算・資金繰り見通し



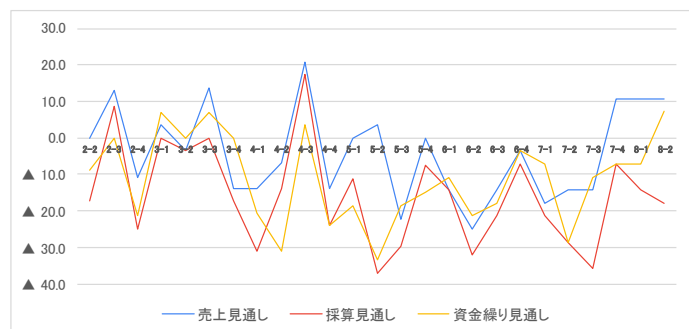
◎製造業の売上・採算・資金繰り見通し



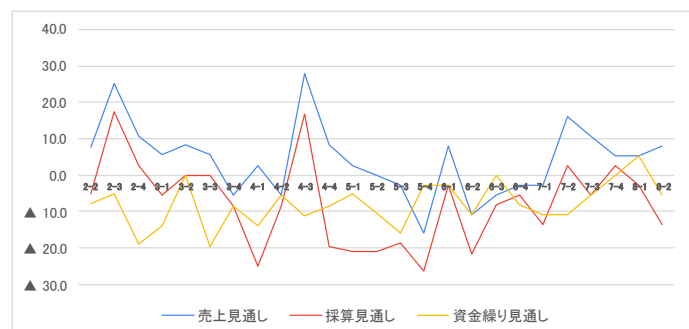
◎建設業の売上・採算・資金繰り見通し



◎卸・小売業の売上・採算・資金繰り見通し



◎サービス業の売上・採算・資金繰り見通し

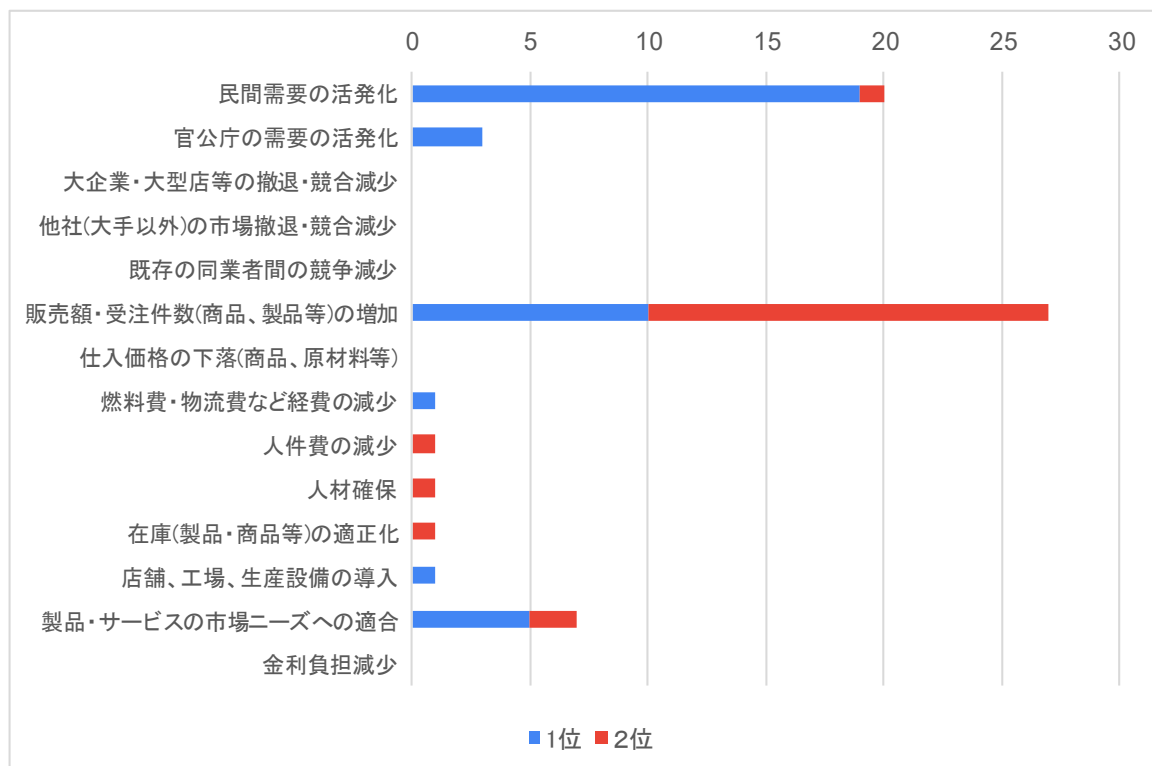


— 売上見通し — 採算見通し — 資金繰り見通し

○業況変化の要因

～景況が好転・増加した理由～

販売・受注の増加や民間需要の活性化により業績が好転しています。



～景況が悪化した理由～

仕入価格の上昇(商品、原材料等)が1位回答の最多となっています。

